

東はりま甲南会報

第 10 号

発行
平成19年5月1日



ごあいさつ

東播磨甲南会
(旧制理科)

昭和10年卒

会長 森 滋郎

達磨会 東加古川病院 理事長

昭和10年、甲南高校を卒業した者です。

甲南と言え、私の少年時代を育ててくれた学校生活が頭に浮かんでまいります。

私の家は、阪神大石駅付近で、父が医院を開業しておりました。そこで生まれ、御影の付属小学校へ通学し、中学から甲南ということでした。通学には当時国道に電車が通っており、国道電車で住吉まで行き、住吉駅から学校まで歩いて通いました。途中、反高林という樹林地帯を通りますが、人通りも少なく本当に気味悪い所で、首吊りをして宙にぶら下がっていた光景もありました。ここで学校のサイレンが聞こえてくると、間に合ったとほっとしたものです。今日こうして元気でいられる基礎は、この住吉から馳足の甲南までの通学の賜物と感謝しております。

7年制で高校入試の勉強をしなくてよかった為、その力を部活動に使うことができたのも甲南の強みでした。私は剣道部に入部しました。野田先生のご指導で何もわからないまま竹刀をもち、前、後ろ、面！と何回も何回もさせられたことを思い出します。

このように剣道も勝つ為のものでなく、正しい姿勢で、前、後ろ、面！と打ち込む正しい姿勢が大切で、甲南の子は姿勢が正しいと言われたことでした。又、教授陣も一般の高校中学のことを思い出すと超一流の教授陣で、後でその事がわかり甲南高校の平生さんの偉大さが後でわかりました。私は今も平生先生の「健全たる常識をもつて、世界に通用する紳士たれ」という言葉を肝に銘じております。



ごあいさつ

学校法人 甲南学園

理事長 吉沢 英成

東播磨甲南会設立十五周年を迎えられるのことに心よりお祝い申し上げます。皆さまの平素からの活動が毎年毎年つみ重なってこまできたのだと、心より敬意を表します。この六月二日にはお招きいただき、お話をさせていただくことになりました。皆さまにお会いできること楽しみにしております。

さて、大正八年(一九一九年)四月二十二日始めて入学式を催してから、甲南学園は八十八年目を迎えました。大学としては五十五年目です。卒業生の数も八万人に達しようとしています。つい先日三月にはほぼ千九百名の新卒業生を送りだしたところです。また四月早々には、二千名余りの新入生を迎えました。今、学内に、新入生の清新な戸惑い顔、クラブ・サークルへと勧誘する上級生たちの声々がはじけています。八万人の卒業生のお一人お一人が甲南のこの華やいだ光景を記憶の中にとどめておられるのではないでし



ごあいさつ

甲南学園同窓会

会長 吉原 功

甲南学園の今昔

先日所用のため母校を訪問した。約束の時間に余裕のあるところから本館周辺をぶらぶら歩いてみた。大きな教室塔が所狭しと林立しており、今甲南は1万名を超える学生を収容する大きさである。

私は1945年旧制甲南高等学校尋常科入学で

ようか。東播磨甲南会の継続する力の源は皆さま方がこうした想い出を共有されているところにあるものと拝察しております。

毎年卒業生を送り出し、新入生を迎えるという同じことを繰り返しているうちにも、時代の変化、社会環境の変化は急激で、教育のあり方にもさまざまな変化・適応を迫られてきました。「教育ばかりは大量生産ということではない」とは平生三郎先生のことですが、これに反したかたちになってしまったこともあります。「まず現代の凡化主義型にはめて個性をなくする」の風潮を改め、ほんとうに各人の天賦の特性を伸張させ、独創力を発揮することができるよう人間をつくることに努めねばならない」ということは平生先生のものでしたが、この「凡化主義」になつてしまった時期も無しとは言えません。しかしこうした平生先生のことばが、時代の変化のなかでも、むしろ「わがくるま」をつなぐ星のように、燦然と輝いていることに、常に嬉しい驚きを感じます。百年近い学園の歴史を貫くこの平生という星を手放すことなく、皆さんと共に進んでいきたいと思っております。

あるので、当時は700名程度の学生を収容する校舎群であった。しかも戦争中であり、先輩達は学徒動員で学校に居らず、1年生のみ僅か90人と先生方、事務職員30人位か？閑散とした学校風景であった。しかし授業の記憶は小学校時代と格段に違う鮮烈な味わいであり、何か自分が数段偉くなったような雰囲気を感じたものだ。

あれから60年余り、少子化の中で規模拡大を余儀なくされる教育界。この中で真の教育機関としてのステイタス維持を果たさねばならない。OBも含めた関係者が、我々が甲南を見守って行きたいとの感慨を新たにした一刻であった。

東播磨甲南会第15回総会・設立15周年記念講演会のご案内

- 開催日 平成19年6月2日(土)
- 時 間 受付開始 17:30
総 会 18:00~18:30
記念講演 18:40~19:40(無料一般公開)

甲南学園理事長 吉沢英成 氏

演 題 「甲南学園の今・昔、そして『100年の計』」

懇 親 会 20:00~21:30 (会費：8,000円 当日集金)

二 次 会 21:40~ (会費：3,000円 当日集金)

- 場 所 加古川プラザホテル2F
(JR加古川駅より徒歩4分 TEL 079-421-8877)

※ 出席のご連絡は、同封の【出席確認票】で5月21日までに東播磨甲南会事務局
FAX 079-421-5771 mailアドレス konan@kyoritu.co.jp
三宅 隆宏をお願いします。



よしざわ ひでなり
吉沢 英成 甲南学園理事長

略 歴

学 歴

昭和39年 3月 東京大学経済学部卒業
昭和41年 3月 同 大学院経済学研究科修士課程修了
昭和43年 6月 同 大学院経済学研究科博士課程

職 歴

昭和43年 7月 東京大学経済学部助手
昭和47年 4月 甲南大学経済学部助教授
昭和53年 4月 同 教授(平成18年3月迄)
昭和62年 10月 同 学長補佐(昭和63年4月迄)
平成 元年 4月 同 経済学部長(平成2年3月迄)
同 学校法人甲南学園理事(平成2年3月迄)
同 評議員(平成2年3月迄)
平成 3年 4月 甲南大学経済学部長(平成4年3月迄)
同 学校法人甲南学園理事長(平成4年3月迄)
同 評議員(平成4年3月迄)
平成 4年10月 同 理事(現在に至る)
同 評議員(現在に至る)
平成 6年 4月 甲南大学副学長(平成10年3月迄)
平成10年 4月 同 学長(平成16年3月迄)
平成17年 8月 学校法人甲南学園理事長(平成18年3月迄)
平成18年 4月 同 理事長(現在に至る)
平成18年 4月 甲南大学名誉教授(現在に至る)

若い世代の参加で組織を活性化 1月に臨時総会開かれる

東播磨甲南会の臨時総会が平成19年1月23日、加古川市内のホテルで21人が出席して開かれました。会の設立15周年を迎えて若い世代を増やすなど役員を一新し、経験豊かな先輩と、やる気にあふれる後輩たちが一丸となって記念の節目のさらなる会の発展を目指していくことになりました。

臨時総会は、森滋郎会長(S10旧理)の挨拶で開幕。満91歳を迎えられた森会長は「平生先生は『天から受けた才を自分で伸ばし、世界に通用する人間になれ』と言われた。今さらながら素晴らしい人物だったと思う。その考えの下に我々は育った。最近、学校経営は難しいが、甲南は根がしっかりしている。今も天才を育て続けており、誇らしく思う。こうして同窓生が顔を合わせる機会に、甲南の将来について、そして全部の幸福について考え合っていきたい」と述べました。

その後、籠合紘義氏(S40経営)を議長に進められ、三宅隆宏幹事長(S41経営)から臨時総会開催の理由である会則の改定案が提議されました。趣旨については西尾淳幹事(S39経営)から「15周年を迎え、時代に即して、東播磨甲南会の活性化を図っていくために組織を再編する」との説明がありました。具体的には、従来の会長以下、幹事長、副幹事長、会計、幹事に加えて、新たに総務委員会・地区委員会・広報委員会の3委員会を設置。全役員25人で多様な意見を出し合い、それを基



に10人の幹事会で真剣討議する体制です。また、委員会編成では平成卒業の若い人に多数参加してもらっており、経験、得意分野などまさに幅広い才と英知を結集した組織に生まれ変わろうとの狙いです。

役員の任期は3年とし、修正などを経て、議案は満場一致で承認されたほか、6月2日の15周年記念総会開催に向けて、新しい東播磨甲南会が歩み始めました。

その後は懇親会。西尾幹事の音頭で盛大に乾杯し、幅広い世代で交流を深めたあとは、もちろん甲南学園歌の力強い斉唱で締めくくられました。

会員リレーエッセイ

輝く生き方



株式会社銀座屋代表取締役
昭和49年 文学部卒
松本 浩一

年齢ともなると健康診断でアチコチ要再検査と判定され、一瞬ギクッとするが要経過観察との診断にホッとすることである。

人生健康が資本。元気に生きるには心身ともに健康が一番だと思う。「体に悪い」と一般に言われていることはやらない方がいいに決まっている。

さて人生とは「時間」であるという。1年8760時間。人生80年として時間に直すとたった70万時間である。一方「いかに長く生き永らえるかより、いかに輝いて生きたか」が問われる。

人はどのような時が一番輝いているだろうか。それを知るには、逆に一番ブルーな感じになっている時はどんな時であるかを知ればわかり易い。会社で「辞めたい」といつて来る人に共通しているのは「自分は役に立っていない」。

「自分は必要とされていない」と思った時が一番多い。反対に一番輝いている人は「自分は頼りにされている」。「自分は必要とされている」と感じている人のことである。子供を育てさせたければ「あなたは邪魔者」という扱いをすれば一発である。反対に「あなたは望まれて生まれてきた存在」と接すれば素直な子供に育つそうである。

私は人生の師匠と尊敬する先輩より「自分の人生でたった1冊の本でいいから書けるような生き方をしろ」といわれたことがある。大それたことは決してできないが、人に誇れる生き方をしたいと思う。そして、一番生きがいを感じるのには「他人に必要とされる」時であることを念頭に、できる時は躊躇せずに何ごとにもチャレンジしたいと思う。

しかし人は、自分の好きを通して生きようとしても、我俣を通せるほど社会は甘くないものである。自分の我を通して、やり通す人は立派であるが、一般的には少数派だろう。では知識も能力も平凡な我々はどうすればいいだろうか？

①あきらめて妥協して程々に生きるか？
②向いていないと感じたことでもやり続けて好きになるか？

のいずれかだろう。何事も楽しくないのは、真剣にやっていないからではないだろうか。何事もやり続けられ好きになれる。平凡な中に、コッコツとやり続けて、元氣な間に可能な限り役立つことをさせていただき、そして老いて他人の世話にならなければならなくなつた時は素直に世話になればよいと思う。

「1日が人生の縮図」
毎日を大切にしたい。

先の臨時総会において新組織、新役員が決定されました。
ここでは、新たに設けられた各委員会の委員長を紹介します。

各委員長ごあいさつ



総務委員長
昭和40年 経営学部卒
籠谷 紘義

東播磨甲南会は早、15周年を迎えました。私が入会の機会を得たのは大総会のゴルフのメンバーとして出席してからです。この譽れ高き会に入会出来たことを誠に幸せに思います。

年を重ねるごとに、地域の各分野でご活躍の諸先輩方や後輩の各位との親しく穏やかな親交をさせていただき、森会長を頭とする甲南を愛し変わらぬ良き校風を持ち続ける仲間の集まり

であることが誇らしく思い、また永く永くこの会が続いて発展していくものと確信しています。森会長は私ども大変ご尊敬申し上げており会のリーダーとして何時までもお元氣でご参加いただく事を心から祈念いたすものであります。

さて現在会員200名以上を有する会であり益々の成果がありますように、会員相互が深く交流して播磨の地で格たる会と成りますよう希望します。

今年度は総務委員長として微力ながら努力致したく存じます。今後の運営をスムーズに楽しく行えるよう私なりに考えていきたいと思ひます。皆様のご意見、ご指導、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



地区委員長
昭和62年 文学部卒
栗山 隆博

会員の皆さまへ

広報委員長と共に、この度の組織改正に伴い新たに役員に加えていただくことになりました栗山です。大学を卒業以来、東播磨の会に初めて参加させていただいたにも関わらず重責を拝命いたしました。

地区委員会は会員の増強及び懇親を担当させていただくことになっております。皆さまのご協力なしには到底叶うものではありません。諸先輩方のお力をお借りして、会員の皆様が一年に何度かは集まりたいなあと思える会になるように努力したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

私の最近の休日は、のんびりできる穴場の日帰り温泉（銭湯含む）を探して過ごしています。『ここは良かった！』との情報がありましたら是非ともご教示ください。



広報委員長
昭和62年 法学部卒
岩崎 泰史

この会には設立当初から会員となり設立総会にも参加しましたが、その後は行事に参加することもなく今に至っていました。ところが昨年「東播磨甲南会の役員に加わってもらえないか」とお話をいただきました。大学を卒業して今年

に立つ仕事をするころだぞということなのかと思ひ、広報委員長をお引き受けすることにいたしました。しかしながら、「幽霊会員」のようだった私は右も左も分からない状態です。今後、広報委員会のメンバーや諸先輩方のお力をお借りして、会員の皆様に情報提供できるよう頑張りたいと思ひます。私事です、年齢を省みず昨年ダイビングを始め、和歌山や竹野の海に潜っています。一緒に行つてやろうという方がいらつしやいましたら一声かけてください。

平成18年度事業報告

- 平成18年 4月24日 機関紙「東はりま甲南会報」第9号発行
- 平成18年 5月21日 総会
- 平成18年 5月23日 神戸甲南会出席
- 平成18年11月23日 宝塚甲南会出席

平成18年度会計報告

(平成18年1月1日～
平成18年12月31日)

歳入	歳出
入会金 10,000	総会費 259,235
臨時会費 253,000	機関紙発行、送付費 209,645
支部援助金 158,520	他甲南会、参加費 11,000
祝い金 10,000	臨時役員会 3,831
預金利子 80	次年度への繰越金 712,878
口座開設費 10	
前年からの繰越金 764,979	
合 計 1,196,589	合 計 1,196,589

(注)財産目録 ■普通預金 727,709 ■未払金 14,831 ■差引繰越金 712,878

※上記の通り、収支は正確であると認めます。監査人 西尾 淳

平成19年度事業計画(案)

- 平成19年 5月 1日 機関紙「東はりま甲南会報」第10号発行
- 平成19年 6月 2日 総会
- 随 時 ・友好支部総会へ表敬訪問 ・幹事会、役員会
・ゴルフ同好会発足、親睦コンペ開催

平成19年度予算(案)

(平成19年1月1日～
平成20年3月31日)

歳入	歳出
入会金 10,000	総会費 400,000
臨時会費 300,000	機関紙発行、送付費 250,000
支部援助金 150,000	他甲南会、参加費 30,000
前年からの繰越金 712,878	次年度への繰越金 492,878
合 計 1,172,878	合 計 1,172,878

平成19年度東播磨甲南会役員(案)

〈会 長〉：森 滋郎 S10旧理(留任)
 〈幹事長〉：三宅 隆宏 S41経営(留任)
 〈副幹事長〉：大庫 良一 S54経済(新任)＝筆頭副幹事長
 中尾 知也 S50法学(留任)＝総務委員会担当
 大庫 俊介 S46文学(新任)＝地区委員会担当
 松本 浩一 S49文学(新任)＝広報委員会担当
 〈会 計〉：岸本 明広 S58法学(新任)
 〈監 事〉：西尾 淳 S39経営(留任)＝主に会計監査
 〈監 事〉：中川 智章 S39法学(新任)＝主に運営監査

総務委員会

委 員 長：籠谷 紘義 S40経営(新任)
 副委員長：大西 信良 S42経営(新任)
 石川 晴雄 S48経済(新任)
 藤原 武彦 S60経営(新任)
 貴傳名 光昭 S63経営(新任)

地区委員会

委 員 長：栗山 隆博 S62文学(新任)
 副委員長：原戸 種弘 S50経営(新任)＝加古川市担当
 丹後 昌博 S54法学(新任)＝
 北条 雅紀 S48経営(新任)＝
 井奥 貴子 H3経営(新任)＝高砂市担当
 高橋 正明 S58経済(新任)＝加古郡・他担当

広報委員会

委 員 長：岩崎 泰央 S62法学(新任)
 副委員長：富居 雅人 S62文学(新任)
 渋谷 哲志 H1法学(新任)
 前田 直 H1法学(新任)
 佐藤 孝洋 H4法学(新任)
 澤本 武司 H7理学(新任)
 岸本 明広 S58法学(新任)＝会計兼務

東播磨甲南会 入会のご案内

- 目 的…甲南大学同窓会の東播磨支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的とする。
- 入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住もしくは勤務。

- 入会金…終身会費1万円(初回のみ)
- 入会方法…総会時受付で申し出ていただくか、直接事務局へ。
- その他のご負担…総会、行事等毎に参加者からそのつど臨時会費(実費)を頂きます。

事務局

〒675-0012
 加古川市野口町野口116-1
 (株)共立サービス内



TEL 079-426-0090
 FAX 079-421-5771
 E-mail konan@kyoritu.co.jp

「設立15周年迎えるにあたり昨年7月と1月の2回も臨時総会を開き会則と組織を見直しました。会則の変更は西尾先生に計4回も2時間延べ10時間近く、後半は中川先生のお力も借り会則(案)が完成。組織についても活動する3つの委員会を新設、各委員長が委員会を開き、副幹事長が大目付役でそれぞれを担当、活性化を図って頂いています。活動する仕組みが出来上がったと皆様に感謝しています。森滋郎会長にはご持論の120歳まで生きて頂き、現役の間は「顔」として頑張ってください。課題は女性の参画、総会の参加数です。「活動する魅力ある会」に対し皆様のお知恵と力を貸して下さい。(T.M)